



一般社団法人ロボットデリバリー協会

概要

2022年2月

物流における現状の課題

ECやQC※の需要拡大

配送の担い手不足

人々の生活をより便利にするECやQCの拡大が
配送員の不足によって頭打ちになるおそれ

ロボットによる配送の無人化・省人化

※QC=クイックコマース

自動配送ロボット



自動で走行して荷物を配送するロボット

人や物を自動で回避する

自動車よりも小さくゆっくり走行する

インターネット通販、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、クリーニング、C2Cなどの様々なものを配送する

自動配送ロボットの制度整備

成長戦略実行計画（令和3年6月18日）

自動配送サービスを実現するため、低速・小型の**自動配送ロボット**について、（中略）**産業界における自主的な基準や認証の仕組み**の検討を促すこと等を前提に、本年度のできるだけ早期に、**関連法案の提出**を行う。

岸田内閣総理大臣施政方針演説（令和4年1月17日）

（デジタル田園都市国家構想）

「運転者なし」の自動運転車、低速・小型の**自動配送ロボットが公道を走る場合のルール**や、ドローン、AIなどの活用を前提とした産業保安のルールを、新たに定めることで、安全を確保しながら、新サービス展開の道を拓きます。

本協会が担う役割

政府による
自動配送ロボットの制度整備



産業界による
安全基準と認証の仕組み



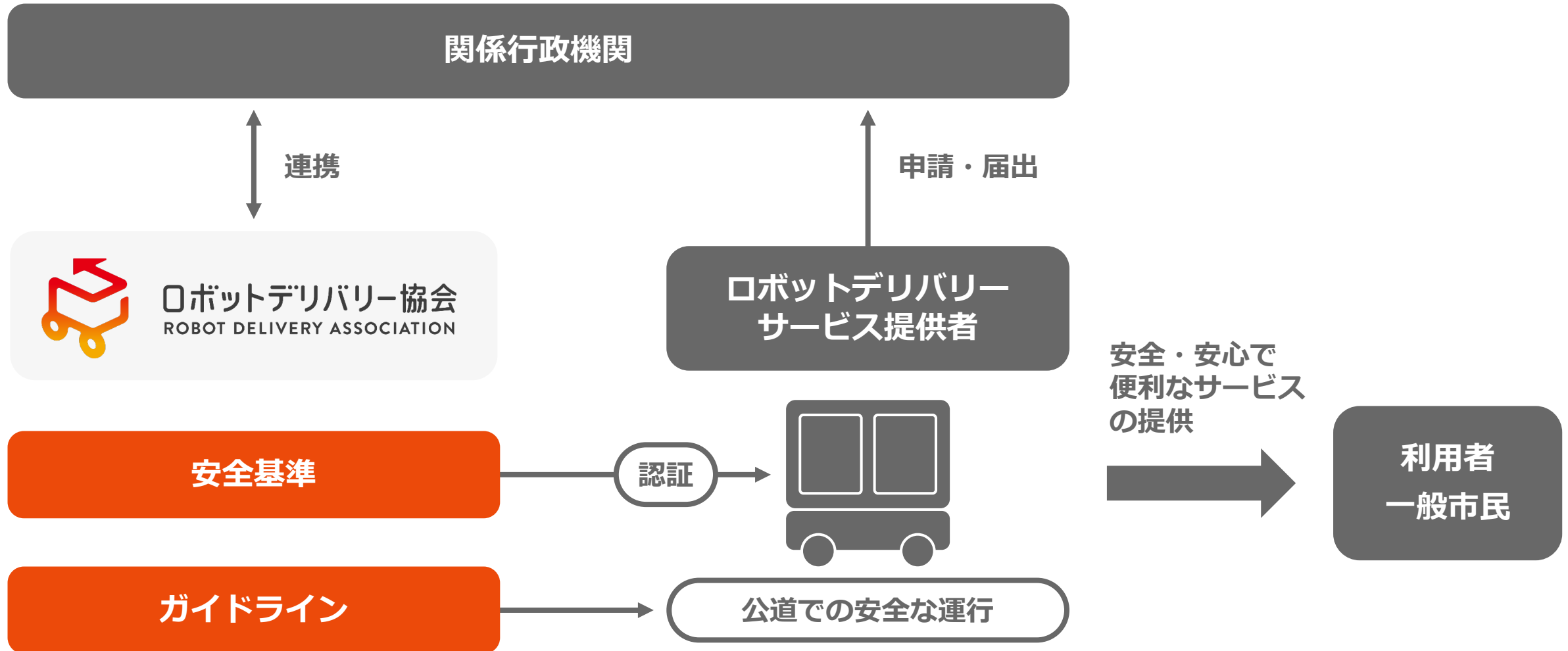
安全・安心で便利なロボットデリバリーサービス



ロボットデリバリー協会
ROBOT DELIVERY ASSOCIATION

- 名 称** 一般社団法人ロボットデリバリー協会 / Robot Delivery Association
- 設 立** 2022年1月20日
- 発 足** 2022年2月18日
- 目 的** ロボットデリバリーの普及による人々の生活利便性の向上
- 活 動**
- (1) 自動配送ロボットの安全基準の制定と改訂
 - (2) 自動配送ロボットの安全基準に基づく認証等の仕組みづくり
 - (3) 自動配送ロボットに関係する行政機関や団体等との連携
 - (4) 自動配送ロボットに関する情報の収集と発信

自動配送ロボットの安全基準とガイドラインの策定





いつでも、どこでも

ロボットが安全に届けてくれる

より便利な社会の実現へ



ロボットデリバリー協会
ROBOT DELIVERY ASSOCIATION